

輝

2022.10.7 (金) No.21

文責：半澤 律子

1学期が終了しました

授業日数99日を終え、第1学期が本日終了いたしました。保護者の皆様には、この1学期、多大なご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

4月の入学式以来、生徒たちは向洋中生としての自覚をもち、多くの場面で大活躍をしました。特に体育祭では、暑い中での練習が続きましたが、学年の仲間や先輩方と心をついに、様々な競技に取り組みました。また、先輩たちが全力で応援する姿に深く感動し、「先輩のようにになりたい。」「自分もリーダーとして活躍してみたい。」という思いを作文に綴っていました。

この1学期は、生徒たちの成長が目に見える日々でした。2学期も、それぞれに新たな目標をもち、あらゆる場面で活躍するよう、生徒一人一人に寄り添っていきます。今後もお支援くださいますようお願い申し上げます。

「1学期を振り返って」

4月に入学してから、あっという間に1学期が過ぎました。入学当初は慣れない環境の中での生活に緊張する毎日でしたが、学年や学級の仲間と毎日の生活を過ごしたり、部活や行事を通じて先輩方と関わっていったりする中で、その緊張感は楽しさに変わっていききました。

さて、1学年が1学期に頑張ったことは、3つあります。

1つ目は、部活動です。運動部の人たちは、中総体ではサポートにまわる人たちも多かったものの、新人大会では全員が参加し、それぞれの目標に向かって取り組むことができました。そして、吹奏楽部は中総体での応援や定期演奏会での演奏、美術部は行事の看板制作など、それぞれの部活がそれぞれの活動を懸命に取り組みました。

2つ目は体育祭です。初めての縦割り活動や猛暑の中での練習はとても大変でしたが、先輩方を応援し、そして先輩方に応援されたときには、仲間と心が一つになったと実感することができました。

3つ目は、定期考査、実力テストに向けた学習です。定期考査ではテスト計画を立てはじめる3週間前から、普段の授業では感じられないほどの集中力と緊張感がありました。1学年委員会が作った予想問題に真剣に取り組む姿や各教科の先生方がつくってくれた復習の時間に喜ぶ姿、テスト直前に友達と問題を出し合い復習している姿があり、一人一人がそれぞれの目標に向かって頑張っていることが伝わってきました。仲間の頑張りを見て、自分もさらに頑張っていきたいと前に進んだ人が多くいたと思います。1回目の実力テストも返却されて、自分の弱点が目に見え、今は弱点克服に向けて頑張っているところです。

4月からの日々は大変なことも多かったけれど、それ以上に楽しいことが多くありました。今は、11月に行われる蔵王宿泊体験の準備を実行委員中心に進めているところです。2学期への準備も始まり新しい目標に向かって頑張っている人も多いと思います。委員会や係などの役割も新しくなり、一人の気持ちも新しく切り替えられるので、1学期よりもさらに充実した時間を過ごせるよう、1学年全員で頑張っていきます。

(1学期終業式1学年代表の言葉 O・Mさん)

最近の学校生活の様子をお伝えします！



学年委員作成のテスト予想問題に取り
組んでいます。



宿泊体験学習の話し合いを班ごと
に行っています。



生徒会役員改選に向けた選挙運動
&
学年委員あいさつ運動の様子